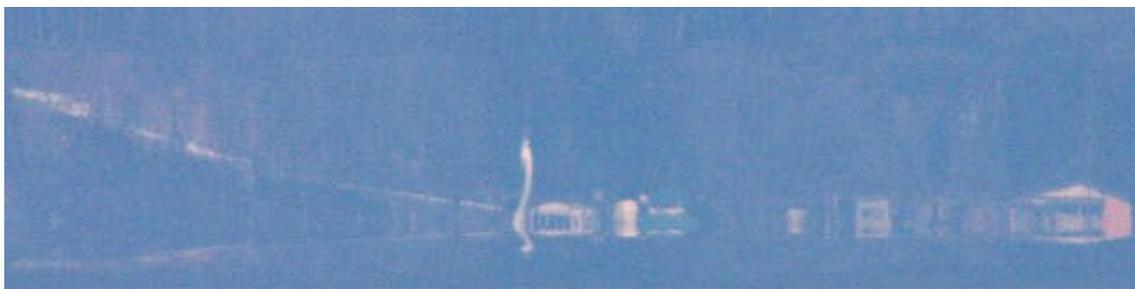


2009年猪苗代湖の蜃気楼発生状況

北海道・東北蜃気楼研究会
会津若松市 星 弘之

蜃気楼発生時の画像を見ると何処が本当の風景で虚像はどれかと思ひ悩んでしまふ、また一般の人に蜃気楼の画像を見せると決まって「どれが本物？」と聞かれる。今まで通常の風景から蜃気楼に変化し始める点を確認出来ていなかった。そこで今年は蜃気楼発生前から発生、消滅まで記録することを主眼に観測を実施した。2006年の無人カメラとアメダスによる観測結果により、発生前は概ね北東方向より3m以下程度の風が吹き、風が反転したと思われる時点で発生する事が多い、この事を参考に観測日を限定、現在まで6日間観測し5日間発生を確認した。(4/4、4/10、4/11、4/18、~~4/29~~、5/1)
5日間の内、最も変化の大きい4月10日の蜃気楼を紹介する。



【①实景に最も近い】



【②下位と思われるところが変化？】



【③変化が収束、風景が高止まりとなる】

結果として蜃気楼発生前から消滅までを完全には確認（撮影）出来なかった、しかしながら②のように下位と思われるところが下方に伸びる現象も観測することが出来た。連続して記録することにより③のように風景が高止まりになった後、どのような過程を経て实景に戻るのかという疑問も湧いてきた。来年度以降再チャレンジしてみたい。